

抵当権が設定されている場合の記入例

様式第1の3（第5条及び第8条関係）

番号は申請者の任意です。
(決裁番号があれば記入)
申請日を記載して下さい。

第 号
令和5年7月30日

公益財団法人 日本自動車輸送技術協会
会長 内藤 政彦 殿

交付申請者と同一です。

申請者 住所 〒160-****東京都新宿区四谷〇丁目◇番地
氏名又は名称 有限会社 輸送技術商会
代表者役職・氏名 代表取締役 輸送一郎
() 注1

役職名を忘れないください。
(現在事項全部証明書と同じ)

令和5年度脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金（商用車の電動化促進事業（タクシー））により取得する補助対象車両に係る財産処分（抵当権の設定）注2について

標記について、令和5年度脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金（商用車の電動化促進事業（タクシー））交付規程第5条第2項及び第8条第1項十一号に基づき、「環境省所管の補助金等で取得した財産の処分承認基準について」（改正平成30年6月1日付環境会発第1806015号大臣官房会計課長通知）第2の1に準じて、様式第1の3（その2）のと通りの処分について承認を求めます。

本件責任者及び担当者の氏名、連絡先等

責任者 連絡先	責任者(所属部署・職名・氏名) 企画部長 輸送 三郎
	電話番号 123-456-7892
	Eメールアドレス 0123456@yuso.c*m
担当者 連絡先	担当者(所属部署・職名・氏名) 企画部 主任 輸送 太郎
	住所 〒160-**** 東京都新宿区四谷〇丁目◇番地
	電話番号 123-456-7891
	Eメールアドレス 987654@yuso.c*m

本申請に係る社内責任者・担当者の連絡先等を記載してください。

注1 申請者と使用者（貸渡し先等）が違う場合に記載すること。

注2 括弧内には転用、無償譲渡、無償貸付、交換、取壊し又は廃棄、抵当権の設定のいずれかを記載すること。

処分の種類等の（抵当権の設定）記入例

様式第1の3（その2）

1 処分の種類（ 転用 無償譲渡 無償貸付 交換 取壊し又は廃棄 **（抵当権の設定）** ）

2 処分の概要

間接補助事業者 ※リースを利用する場合にあっては、リース事業者名			所在地 ※リースを利用する場合にあっては、貸し渡し先使用者の氏名または名称及び住所		
自動車の車名・型式等を記載します。			自動車検査証の登録番号及び車台番号を記載します。		
車 種 ***×○ JA-TA			登録番号及び車台番号 AA-BB		
補助年度	補助金交付申請額	総事業費（補助対象経費）	処分制限期間（A） ^{（注）}	経過年数（B）	残存年数（A-B）
令和5年	3,000,000円	12,000,000円	3年	年 ヶ月	3年 ヶ月
経緯及び処分の理由				処分（抵当権の設定） 予定年月日	
【例文】 ※補助財産を取得する資金確保のため。 ※補助事業者の事業の資金繰りのため（当該抵当権を認めなければ事業の継続ができず、かつ返済の見込みがあるもの）。 ※交付申請日を記入				令和5年7月30日	

注 処分制限期間（A）は3年となります。

交付申請日を記載します。

抵当権設定日を記載します。